

# 耐ガス腐食性評価のご案内

電子部品の使用環境は多岐にわたっており、様々な環境因子による不具合が懸念されます。そこで、実使用環境を想定した耐環境性評価として、耐ガス腐食性試験がJISやIEC規格に規定されています。耐ガス腐食性試験は、環境因子の一つである山間部の火山性ガスや自動車の排気ガス中の腐食性ガスを想定した、電子部品の耐腐食性の評価が可能です。当機構では、従来の高濃度タイプに加え、新たに**超低濃度・4種混合ガス腐食試験装置を導入**し、超低濃度から高濃度までの耐ガス腐食性評価が可能となりました。

## 試験概要

恒温恒湿槽内に、一定濃度に調整した腐食性ガスを定量ポンプを用いて供給し、試料の耐腐食性を評価します。また、試料に通電しながらの評価も可能です。

## 試験機仕様

型式	GLP-91-E (株)山崎精機研究所製 	GH-180-VL (株)山崎精機研究所製 
使用ガス 及び濃度	H <sub>2</sub> S : 1~100ppm NO <sub>2</sub> : 1~100ppm SO <sub>2</sub> : 0.1~100ppm 混合ガス, 高濃度お問い合わせください	H <sub>2</sub> S : 5~250ppb Cl <sub>2</sub> : 5~250ppb NO <sub>2</sub> : 100~2500ppb SO <sub>2</sub> : 100~2500ppb
温湿度範囲	温度: 20°C~50°C 湿度: 70%RH~95%RH(槽内温度25°C以上) 60%RH~95%RH(槽内温度40°C以上)	
槽内寸法	400(W) × 400(D) × 300(H)mm	510(W) × 500(D) × 700(H)mm
適用規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS C 60068-2-42 環境試験方法-電気・電子 -接点及び接続部の二酸化硫黄試験方法</li> <li>・JIS C 60068-2-43 環境試験方法-電気・電子 -接点及び接続部の硫化水素試験方法</li> <li>・JIS H 8502 (H<sub>2</sub>S, SO<sub>2</sub>, NO<sub>2</sub>) めっきの耐食性試験方法</li> <li>・DIN50018</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS C 60068-2-60 (IEC 60068-2-60) 環境試験方法-電気・電子 -混合ガス流腐食試験 試験方法1~4</li> <li>・JIS H 8502 (Cl<sub>2</sub>) めっきの耐食性試験方法</li> </ul>

## 評価事例

- ・SO<sub>2</sub>ガスを用いた銀メッキ接点の硫化に対する腐食評価
- ・H<sub>2</sub>Sガスを用いた下水用埋設シートの腐食評価

**CERI** 一般財団法人 化学物質評価研究機構  
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

## 名古屋事業所

〒466-0858 愛知県名古屋市昭和区折戸町4-1

TEL: 052(761)1185 FAX: 052(762)6055

URL <http://www.cerij.or.jp>